

里山ハイク・比良比叡トレイル② 2021.4.21

「比叡と比良をつなぐ道—仰木峠～還来神社」

記・SASAKI

今回は特に展望、名峰を巡るというより比叡と比良をつなぐ府・県境を歩く植林地帯の静かな山行となりました。滋賀側には立派な林道が山に沿うように走り、昔は林業が盛んだっただけでしょう。

山の名前が小野山（大原山）・大尾山（梶山）と複数あり、それぞれ取り合いをしているようでした。

前回①のトレイルは大比叡・横高山・水井山とルートの横を歩いたので、ほとんどテープがありませんでしたが、今回はあり過ぎるほどテープがついていて、迷うのが難しいくらいでした。（関係者の方の苦勞がしのべれます。）



〔コース〕

野村別れ (8:54)
仰木峠 (9:58)
梶山 (11:10)
伊香立林道脇
(11:44) (昼食)
伊香立峠 (12:42)
小出石道出合
魚の小山 (13:41)
宮メズラ (13:54)
還来神社 (14:55)
下在地バス停
(15:39)

〔総時間〕

6時間45分

〔歩行時間〕

5時間33分

〔参加者〕

4名



民家の横にニンジンソウが無造作に咲いていました。



「クサノオウ」



広い農道から山道に入っていきます。

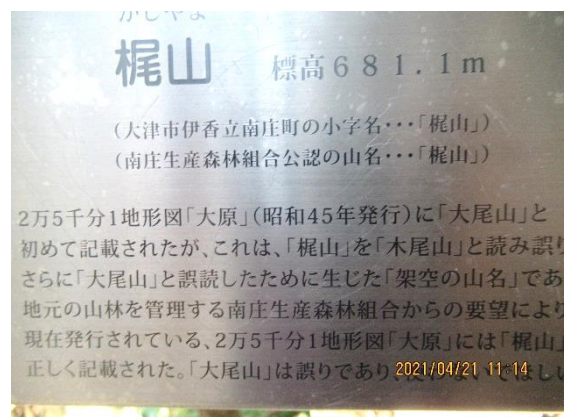


仰木峠へは緩やかな道で1時間ほどで着きました



小野山

小野山を過ぎると境界に沿って梶山近くまで林道が走っていましたが、暑いのですぐ横の山道に入る



大尾山は梶山を「木尾山」と読み誤り、更に大尾山と誤読したので、使わないで欲しいとの説明版がぶら下がっていました。



林床には花が無く、いつもはカメラに収めない「ミヤマハコベ」と「ムラサキケマン」が



伊香立峠は滋賀と京都を結ぶ沢道のアンプで尾根に取つくために一旦山肌を巻いている
頻繁にテープがつけてあり迷うことはない



「小出石道出合」



魚の子山



「魚の子山」にも「小出石」の表示が



「宮メズラ」は昭文社と現地は560mの所になっているが、トレイル協会は一つ上・北のピーク550mを宮メズラとしている



シャクナゲ



木々の間から「権現山」



マムシグサ



急坂を抜けると車道・還来神社は目の前に



暑い中、R477の車道をダラダラ歩いていると「ウワミズザクラ」そして「霊仙山」が見えハッとします。車では見過ごす風景に心慰められる



都会ではもう見るのでできない
鮮やかな「アザミ」

下在地のバス停でバスを待っていると、ご婦人が息を切らせてやってきて、「もうバスはない」と再度言いに来ました。本当に親切な人で頭が下がります。

でも、無事下在地 15:56 発堅田行きに乗れました。

バスから降りてきた人によると「地元でもバスの時間、コースはややこしくてわかりません。」との事。3/13からの改定で大幅に縮小されたので、注意が必要です。